

知的財産教育への支援

内山 隆史

特許審査第二部熱機器（冷却機器）

大学等支援室では、国民全体の知的財産制度に対する意識の醸成と知識の涵養を高めるために様々な教材を作成し、無償で各教育機関やセミナー参加者に配布しています。（詳細は、本誌66頁～77頁をご参照下さい。）

このブースでは、会員の皆様や来場頂いた外部の方々に、あまり知られていない大学等支援室が作成した主な教材を紹介しました。

教材は、小学校から大学、更には研究者・中小企業の経営者と、幅広い年齢層の方々を対象としているため、その種類は、主な冊子だけでも10に上ります。

小学校、中学校及び普通高校においては、理科・社会等の基礎教科や総合的な学習の時間の中で利用頂けるように、絵や写真を多く盛り込んだ副読本を提供しています。

専門高校（工業高校等）、大学等においては、産業財産権の基本的な知識と基礎実務が身につけられるよう「特



許・実用新案」、「意匠」、「商標」、「技術移転」をわかりやすく紹介した4種類の標準テキストを提供しています。

また、大学や公的研究機関の研究者、中小企業の経営者を対象に開催されるセミナー用テキストを作成し、セミナーや大学・大学院の授業のために提供しています。

他にも、ブースの隣で上映した知的財産教育用ビデオ教材やCD-ROM教材も作成しており、副読本・テキストとあわせて利用頂いています。

これらの知的財産教育用教材は、最近の知的財産に対する期待の高まりに伴い、数多くの教育機関において利用されており、その総数は、年間100万冊を超えるものとなっています。（小学校での普及率はなんと20%以上!）

今後、知的財産立国の実現に資する人材を生み出すためにも、テキストの更なる普及、定着を図ることが期待されます。



Profile

内山 隆史（うちやま たかし）

平成8年4月 特許庁入庁
技術調査課知的財産支援室を経て
平成15年1月より現職